

【実践ワークシート】「三方よし」をあなたの事業に活かす4ステップ

【解答例：有限会社 はるかぜベーカリー】

このシートを使って、あなたの会社の「三方よし」度チェックから、事業改善アイデア、そしてミッションの種探しまで、一連の流れで取り組んでみましょう。まずはステップ1から始めてください。

ステップ1：あなたの事業の「三方よし」度チェック！

まずは、自社の現状を客観的に振り返ってみましょう。難しく考えず、思いつくことを書き出してください。

売り手よし

5段階評価（1:できていない、5:十分できている）

項目	自己評価	できていること	もっと良くしたいこと
社員はやりがいを感じていますか？	[3]	お客様からの「美味しい」の声、地域との繋がり実感	労働時間の短縮、休憩時間の確保、スキルアップ・研修機会の提供
適正な利益は確保できていますか？	[2]	固定客による安定売上（一部）、人気商品の確立	原価管理の徹底、食品ロス削減、高付加価値商品の開発、価格改定
働きやすい環境ですか？	[3]	社長・スタッフ間の風通しが良い、アットホームな雰囲気	有給休暇の取得促進、作業動線の見直しによる効率化、福利厚生

買い手よし

5段階評価（1:できていない、5:十分できている）

項目	自己評価	できていること	もっと良くしたいこと
お客様は満足していますか？	[4]	味への高評価、リピーターが多い、安心・安全な食材使用	商品種類の充実（特に惣菜パン、アレルギー対応）、待ち時間の短縮
十分な価値を提供できていますか？	[4]	焼きたての提供、国産小麦・地元食材へのこだわり	ギフト・贈答用商品の開発、オンラインでの情報発信強化
良好な関係を築けていますか？	[4]	常連客との日常的な会話、顔なじみの関係性	ポイントカード導入、顧客の好み把握、SNSでの積極的な交流

世間よし

5段階評価（1:できていない、5:十分できている）

項目	自己評価	できていること	もっと良くしたいこと
地域社会に貢献できていますか？（例：地域行事参加、地元雇用など）	[2]	地元農家からの食材仕入れ、パートの地元雇用	地域イベントへの積極参加・出店、子供向けパン教室開催、フードバンク連携
環境への配慮はできていますか？（例：省エネ、廃棄物削減など）	[2]	賞味期限が近い商品の割引販売によるロス削減努力	包装の簡素化（紙袋推奨）、マイバッグ特典、省エネ設備導入検討
法令遵守や公正な取引を行っていますか？	[5]	衛生管理の徹底、適正な価格表示、仕入れ先との誠実な取引	（現状維持・継続）

自社の事業はSDGsのどの目標に貢献できそうですか？

（参考：目標8「働きがいも経済成長も」、目標12「つくる責任つかう責任」など）

記入欄:

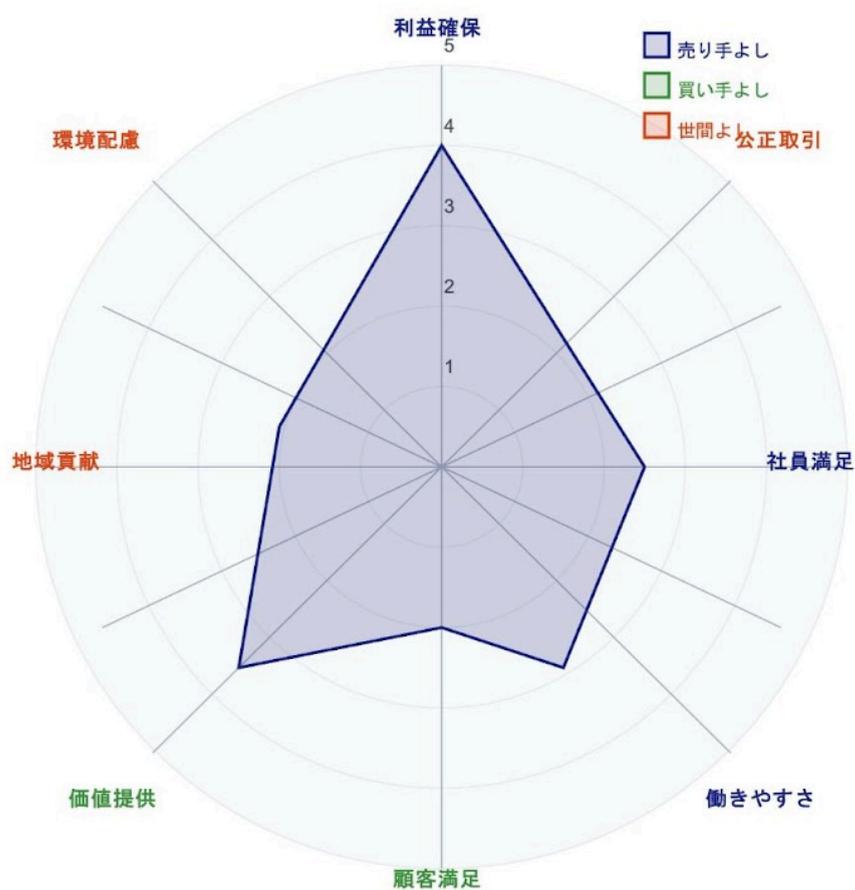
目標2（飢餓をゼロに：フードロス削減の取り組み）、目標8（働きがいも経済成長も：地元雇用、働きやすい環境整備）、目標11（住み続けられるまちづくりを：地産地消、地域コ

コミュニティへの貢献)、目標12(つくる責任つかう責任:食品ロス削減、環境配慮型包装、地産地消)

「三方よし」レーダーチャート

上記の自己評価をもとに、各項目を点でプロットし、線で結んでみましょう。自社の「三方よし」バランスが見えてきます。

(解答例)



「三方よし」レーダーチャート

各項目を5段階で自己評価し、点をプロットして線で結びましょう。
自社の「三方よし」バランスが見えてきます。

(注:上記はイメージです。実際にプロットすると形が変わります。)

ステップ2：「世間よし」をプラス！事業改善アイデア発想

ステップ1で見えた課題、特に「世間よし」を良くするための具体的な改善アイデアを考えてみましょう。

取り組みたいテーマ（ステップ1より）：
地域社会への貢献強化 と 環境負荷の低減

そのテーマを改善し、もっと社会/地域/環境を良くするために、具体的にどんなことができますか？

（アイデアを自由に書き出しましょう）

- 地元の子供食堂や福祉施設へ、当日販売しきれなかったパンを定期的に寄付する（フードバンク等と連携）。
- 小学校の総合学習の時間などで、出張パン作り体験教室を実施する。
- マイバッグ持参のお客様への割引やスタンプ付与制度を導入する。
- プラスチック製の個包装や手提げ袋を減らし、紙製やバイオマス素材への切り替えを進める。必要最低限の包装にする。
- 売れ残ったパンを活用し、ラスクやクルトン、パン粉などの加工品として販売する。
- 地域の清掃活動やお祭りに、スタッフがボランティアとして参加する。
- 店舗の照明をLEDに交換する、冷蔵庫などの設備更新時に省エネ性能の高いものを選ぶ。

そのアイデアを実現するために、誰と協力できそうですか？（社内・社外問わず）：

- **社内:** 社長、パン職人、販売スタッフ全員（意識共有、アイデア出し、実行）
- **社外:**
 - フードバンク運営団体、NPO法人、社会福祉協議会
 - 地域の小学校、PTA
 - 包装資材メーカー、環境コンサルタント
 - 近隣の商店街組合、町内会
 - 取引のある地元農家（規格外野菜の活用なども検討）
 - お客様（マイバッグ持参などへの協力依頼）

アイデアの例：仕入れ先見直し、地域イベント参加、省エネ対策、簡易包装、環境団体への寄付など

ステップ3：なぜこの仕事を？事業の根っこにある想いを探る

事業改善の動機を深掘りし、あなたの根源的な「想い」や事業の存在意義（ミッションの種）を探ってみましょう。

特にやりたい改善アイデアとその理由は？

子供食堂へのパンの寄付や、パン作り教室です。理由は、自分が作ったパンで、未来を担う地域の子供たちが笑顔になってくれたら嬉しいから。また、食べ物を無駄にせず、必要な人に届けられることに意義を感じます。パンを通じて食の大切さや作る楽しさを伝えたいという想いもあります。これは地域への恩返しでもあります。

今の事業を始めた/続けている理由は？

先代である父が始めたこのパン屋を継ぎました。子供の頃から慣れ親しんだこの町の風景の一部であり続けたい、父が大切にしてきた「毎日食べても飽きない、正直なパン」を守りたいという想いがあります。そして何より、自分の作ったパンを「美味しい」と言ってくれるお客様の笑顔が原動力です。

事業を通じて届けたい価値は？

単にパンという「モノ」だけでなく、手作りの温かみや、ホッとする時間、日常の中の小さな幸せを届けたいです。地元の食材を使うことで、地域の豊かさも伝えたい。お客様には安心・安全な食を提供し、スタッフには働きがいと安定した生活を提供したいと考えています。

自社がなくなったら誰が困る？なぜ？

毎朝、開店と同時に食パンを買いに来てくれるおじいちゃん、アレルギー対応パンをここでしか買えないという親子連れ、休憩時間にいつも買いに来る近くの会社員の方々など、常連のお客様は毎日の習慣や楽しみにしているはずなので困ると思います。また、うちのパンを楽しみにしてくれている地域の方々や、食材を納入してくれている地元の農家さんも困るかもしれません。地域に根差した小さな灯りが消えるような寂しさを感じる人もいると思います。

ステップ4：「三方よし」のミッションを言葉にする（はじめの一步）

ステップ3で見えた「想い」をもとに、自社ならではの「三方よし」ミッション（経営理念）を言葉にする第一歩を踏み出しましょう。

ミッションのテンプレート例：「私たちの会社は、〇〇を通じて、〇〇を幸せにし、〇〇に貢献します。」

ミッションの「種」となる言葉やフレーズを自由に書き出してみましょう：

- 手作りパン
- 焼きたて
- 正直な味
- 安心・安全
- 地域の恵み（食材）
- 毎日の食卓
- 小さな幸せ
- 笑顔
- 温もり

- つながり
- 地域と共に
- 子供たちの未来
- 感謝
- 食育
- 持続可能

【ミッション案（たたき台）】

- **案1:** 「私たちは、地域の恵みを生かした手作りのパンを通じて、お客様に日々の小さな幸せと安心を届け、温かい笑顔あふれる街づくりに貢献します。」
- **案2:** 「はるかぜベーカリーは、正直なパン作りを通して、お客様の笑顔、働く仲間のやりがい、そして地域社会の豊かさを育みます。」
- **案3:** 「私たちは、パンで人と地域をつなぎます。手作りの温もりと安心を食卓へ届け、持続可能な地域社会の実現を目指します。」

(完璧を目指さず、まずは書き出すことが大切です。時間をかけて育てていきましょう。)
